

# 平成 24 年度事業報告書

## 1. 生涯学習に関する普及・啓発活動

### (1) 小・中・高等学校等における大正琴普及事業

#### 趣旨

日本固有の楽器大正琴は、鍵盤付き弦楽器であるため容易に演奏でき、独奏、アンサンブル演奏も可能なことから、幅広い世代に支持され、日本の音楽文化として認識されるようになってきている。大正琴文化の次世代への継承と子ども達が音楽に親しみ明るく豊かな心を育むことを目的に次の事業を実施した。

#### ① 小・中・高等学校等における大正琴伝承教育の実施

##### 事業の内容

使われなくなった大正琴を会員等から譲り受け、メーカーで修理再生して全国の小中高等学校等に 106 台を寄贈した。併せて、講師を派遣し、大正琴演奏技法について講習を行い、受講生は 619 名に及んだ。

子ども達に大正琴音楽に接する機会を与え、音楽の楽しさを体感させ、併せて、大正琴が大正元年に発明された日本固有の楽器であることを教えた。

##### 事業の対象

導入を希望する小・中・高等学校等

##### 事業の成果

次世代を担う子ども達に大正琴文化に関心と興味を持たせ、日本文化を伝承した。当事業をきっかけに、地域の文化活動への参加や、福祉施設への慰問演奏等おこない、世代を越えた交流も行われるようになった。

#### ② 全国子ども大正琴コンクールの実施

##### 事業の内容

大正琴文化に接した子ども同士が交流を図るとともに、目標を持って大正琴に接し、切磋琢磨することにより相互の技術の向上を図ることを目的にコンクールを開催した。会場で演奏し審査をするライブ参加部門と、会場に来られない子ども達に参加の機会を提供するため、送られたビデオ映像にて審査をするビデオ参加部門を設けた。

【開催日】 平成 24 年 8 月 25 日(日)

【開催場所】 ウィルあいち ウィルホール(愛知県名古屋市)

【対象】 全国の 18 歳以下の子ども達

【出場者】 ライブ参加部門 29 グループ 294 名

ビデオ参加部門 20 グループ 83 名

##### 事業の成果

コンクールには 49 グループ 377 名が参加し、日頃の練習の成果を披露した。子ども達の演奏技術は回を重ねる毎に向上し、大正琴文化の向上に繋がった。

### (2) 機関誌を利用した生涯学習の奨励、学習情報の提供等

#### 趣旨

会員を含む不特定の者に対し、生涯学習の奨励、学習情報の提供により、生涯学習の普及・啓発を図ることを目的に機関誌を発行した。

### ①機関誌「協会たより」の発行

#### 事業の内容

7月に38号を4,500部発行した。

主な掲載内容は次のとおり

平成23年度収支決算報告、理事長表彰受賞者の紹介、大正琴普及事業報告、今後のスケジュール、トピックス、会員だより、「大正琴の日」の制定

#### 事業の成果

会員等に機関誌を通して協会の活動状況を提供することにより、大正琴による生涯学習活動を周知した。

### ②機関誌「協会案内」の発行

#### 事業の内容

7月に4,000部発行した。

主な掲載内容は次のとおり

協会の概要、役員名簿、大正琴の歴史、主な協会事業の実績、大正琴普及事業の紹介

#### 事業の成果

不特定多数の者に媒体を通して大正琴の歴史、当協会の沿革及び活動に関する情報を提供し、生涯学習の奨励を図った。

## (3) 普及功労者表彰事業

#### 趣旨

生涯学習の振興と大正琴音楽の普及向上には、会員等の活動が不可欠である。会員等の社会的な功労を公に明らかにし、社会的信頼の確保を図ることにより、大正琴文化活動の参画意識を高めることを目的に表彰した。

#### 事業の内容

永年にわたり生涯学習の振興と大正琴音楽の普及向上に尽力した者の栄誉を称え、表彰規程に基づき19名を表彰した。

#### 事業の成果

模範として知らしめることで、普及功労賞受賞者の大正琴文化活動への参画意識の向上を図るとともに社会的評価を高めることができた。

## 2. 大正琴演奏会、指導者研修会の開催等

### (1) 演奏会の開催

#### 趣旨

大正琴による生涯学習活動の効用の発信と大正琴演奏技術の向上を目的に演奏会を開催した。

#### 事業内容

##### ・生涯学習の効用の発信

会員の指導する愛好者が出演する演奏会を開催し、出場者が大正琴を楽しみ、人生を有意義に過ごしている姿を確認するとともに、一般の来場者に大正琴による生涯学習活動の効果を発信した。

##### ・大正琴音楽向上の発信

大正琴音楽の質の向上を図る演奏会の開催は、会員同士が切磋琢磨し、大正琴文化が日本の文化としてより高い評価を得られ、一般の愛好者に目標を示した。併せて、一般の来場者に対し大正琴文化の魅力を発信した。

- 【大会名】 平成 24 年度大正琴定期演奏会  
【開催日】 平成 25 年 2 月 3 日(日)  
【開催場所】 高槻現代劇場 (大阪府高槻市)  
【出場者】 一般の部 20 グループ 1,033 名、指導者の部 3 グループ 63 名  
子ども演奏の部 2 グループ 3 名  
【来場者】 750 名程度

#### 事業の成果

多くの一般来場者に、大正琴愛好者による演奏を通じて生涯学習活動の効用と大正琴文化の向上を周知することができた。

### 3. 出版物の刊行

#### (1) 機関誌「協会たより」の発行

##### 趣旨

生涯学習の指導経験や成果、協会活動の事業報告に関する情報提供により、法人の機能が円滑に運営されることを目的として機関誌を発行した。

##### 事業の内容

P4①機関誌「協会たより」の発行のとおり。

##### 事業の成果

会員等に機関誌を通して情報提供を図ることにより、会員等の認識、共通の意思並びに連帯感が高まり、公益法人としての機能が円滑に運営されるようになった。

#### (2) 機関誌「協会案内」の発行

##### 趣旨

不特定多数の者への大正琴文化及び当協会の沿革及び活動に関する情報提供により、大正琴文化の振興を図ることを目的に「協会案内」を発行した。

##### 事業内容

P4②機関誌「協会案内」の発行のとおり。

##### 事業の成果

媒体を通じて、不特定多数の者に日本固有の大正琴文化を発信し、大正琴による生涯学習活動への関心を高めた。

#### (3) ホームページの制作

##### 趣旨

電磁的方法により、不特定多数の者への大正琴文化、当協会の沿革及び活動に関する情報提供を行い、大正琴文化の振興を図ることを目的にホームページを制作した。

##### 事業の内容

主な情報提供内容は次のとおり。

協会の概要、役員名簿、定款、大正琴の歴史、事業計画及び予算、事業及び決算報告

##### 事業の成果

ホームページを通じて、不特定多数の者に日本固有の大正琴文化を発信し、大正琴による生涯学習活動への関心を高めた。